

” ベイシックミステイクス 続き” 2016. 11. 27(sun)

丁度 1 か月前、下記の通りアドラーの「ベイシックミステイクス」のことに触れましたら、十数名の読者の方々から「どういうこと？」とのメールを頂きました。もう少し具体的に書かなければ、より「思い込み」で判断されますよ、とのご指摘を受けました。ありがとうございます。要するに、自分の子ども達の言葉や噂話を鵜呑みにし、私共の東進衛星予備校藤枝駅北校の実態、そもそも静岡オープンスクールグループの実態を知らずして、一方的な断罪電話。やはり、済んだこと。ここで一旦具体的に書きましたが、割愛します。勿論、下記に書きました通り、これも身から出たサビと謙虚に反省しております。

” ベイシックミステイクス” 2016. 10. 27(thu)

二十歳で起業し、以来 41 年もの間、様々な方々に支えて頂きながら事業を続けてさせて頂きましたが、残念なことに出会いました。正にアドラー曰く、人間が陥る「ベイシックミステイクス」に気づかず、「思い込み」で言われてしまいました。・・・しかし、それも身から出たサビと謙虚に反省し、前を向いて行かなければ。

” 病気を理由に自分の可能性を自ら潰す。” 2016. 9. 23(thu)

タイトル通りである。20 歳そこそこの若者が、「ボクは、****があるから、仕事ができない。」と言う。今回のパラリンピックに参加した全世界の選手達を見よ！自分の障害をものともせず、自分の可能性に掛けている姿を見よ。恥ずかしくないか、かく言う君は。南三陸の平成の森で約 2 時間、議論した若者よ。私は、自己実現を目指す若者こそ、何としても支えたいと思っている。そのために、20 歳で起業した。自分の持っている技量を活かし、あるいは、僅かでも自分の可能性を広げ、それによって仕事を創る。人に頼るな。自らの道は自ら開け。

” 第 2 回東日本交流合宿、終了する。” 2016. 9. 20(tue)

9 月 16 日（金）夜 9 時半に藤枝を出発し、本日 0 時 45 分に藤枝着。NPO 静岡県教育フォーラム事務局、及び、NPO 日本インターネットスクール協会静岡事務局主催で行われた、3 泊 3 日（1 泊は車中泊）の第 2 回東日本交流合宿が無事終了しました。参加者 8 名が、NPO 日本インターネットスクール協会静岡事務局所有車・10 人乗りのハイエースワゴンに乗り込み、東日本大震災 5 年半後の街の姿、人々の姿を直に体感、それぞれ一人ひとりがじっと消化する交流合宿でした。

南三陸町入谷地区の皆様、伝統の舞・入谷祭、見学させて頂き、ありがとうございました。左恵子さま、お世話になりました。同地区、ひころの里の山内さま、一言もしゃべらない参加者にも拘わらず、執拗に（？）方言交じりで話し掛けながら、繭玉工作を指導して下さい、ありがとうございました。大震災当時気仙沼消防署指導隊長の佐藤さま、全重油タンク全壊で燃え盛る気仙沼の街を夜を徹して消火し、一人でも多くの命を助け続け、

その一方で、そうした救命のプロのご自分が、自身の奥様の命を助けられず、贖罪の念一杯の元、私達に「防災力、生きる術の強化」を説いて下さり、ありがとうございました。・・・それらすべてが参加した青少年達のそれぞれの課題に対して、得るものが大きかったと思います。ありがとうございました。

”ニッセイ財団の助成金で「燻製作り等の作業所」ができる。” 2016. 9. 11 (sun)

不登校生や引きこもりの青少年達の野外体験として、20年近く燻製作りをやってきたことから、当職員やNPO日本インターネットスクール協会の会員の皆様をご購入頂いたり、はたまた、藤枝市周辺のお店からの仕入れもお話も頂くようになりました。そこで、今年度ダメもとで、ニッセイ財団の助成事業に応募したところ、過日満額60万円の助成金が決定になり、いよいよ13日に着工の運びとなりました。ニッセイ財団を始め、設置場所を貸して下さったO氏、施工にご協力頂く(株)サンワ開発様など、皆様には大変感謝申し上げます。ただ、商品化・事業化には、保健所の許可やラベラーなど設備の確保と、まだまだやることはあるんですが、やはり資金です。うーん、何とかせねば。

”「夏休み明けの不登校防げ」(静岡新聞8月31日付け夕刊)の記事に思う。” 2016. 9. 2 (fri)

「夏休み明けに増える傾向にある子ども達の不登校を予防しよう」と、県内の各小中学校が様々な対策に取り組んでいるとして、いくつかの事例が紹介された。しかし、どうして「学校から長期間離れた後は、子どもが学校に適応できなくなり心のトラブルが起きやすくなるのか」の検証が行われなければ、適切な対応にならない。

私共、NPO静岡県教育フォーラムとNPO日本インターネットスクール協会では、この20年間で189名の不登校・ひきこもりを解消してきたが、私達はこうした長期休業期間はその解消の最大のチャンスであると考えている。即ち、こうした長期休業期間は、同世代の仲間たちと心豊かな交流が出来る絶好の機会なのである。従って、私共は、毎回こうした長期休業期間明けで不登校・ひきこもりが解消していくので、この時期が一番ゆったりできるのである。

昔の小中学校では、長期休業期間中には必ず1泊2日、ないしは2泊3日の宿泊訓練(キャンプ)があり、学校の枠から出て大自然の中で学校では体験できない、子ども達同志の心豊かな交流の場となった。

私共も40余年もの長きに渡って。県内は勿論、長野県や神奈川県、北海道、韓国にフィリピン、オーストラリアオーストラリアまで足を伸ばして、大自然交流合宿を行ってきた。小学生から高校、大学生のリーダー達やスタッフ交え、友達って何かやいじめを語り、湾岸戦争を議論し、自殺について突き詰める。あるいは、みんなで最大傾斜35度の山を登り汗を流し、5kmの湿原を歩き、ラフティングボートで零下5度?の川を下り、助け合う。みんなで汗だくになり半日かけて海水から塩を作り出す。・・・それらが不登校・ひきこもりの解消に繋がるのである。その意味を考えて頂きたい。

” 久々のカヤック体験。” 2016. 7. 18(mon)

NPO静岡県教育フォーラム、NPO日本インターネットスクール協会共催「わんぱく自然の里」では、これまで注文が多くなってきている燻製作りばかりになっていたが、昨日は久しぶりに浜松市北区の相津マリナーで、カヤック体験をした。高校生3名を含む計6名で、2時間の余みっちりやった。参加した皆さんの「楽しかった」の一言に尽きる。ついでに、はじめてカヤック体験に来た2組計7名の皆さんと一緒に行ったことも楽しさを倍化した。来月もカヤック体験です。これをお読みになった皆さん、是非ご参加下さい。

” 定住外国人の子どもの日本語初期支援に思う。” 2016. 7. 16(sat)

これまで6年間、NPO日本インターネットスクール協会（JISO）静岡事務局が受託して行ってきた、定住外国人の子ども達の日本語初期支援事業（虹の架け橋事業）につき、焼津市は今年度からJISOに委託せず、当該児童生徒を直接公立学校に通わせながら、タガログ語など語学が堪能な支援員を雇い、通訳で日本語を指導することになった。本日の静岡新聞朝刊に、中野・焼津市長、大石・焼津市教育委員長が港小を視察したとのことが報告されていた。そうした焼津市の対応の変化を受け、多文化共生を考える市民の会「いちごの会」（代表矢澤勉氏）が「放課後ひろば」を開設し、週2日2時間、宿題を中心に、静岡県立大学の学生や市民のボランティアが指導している。

私共、虹の架け橋教室のOB・OG達がお世話になっているため、私も時間が空く限り参加しているが、同じ時期に来日し日本語諸初期支援を受けている、虹の架け橋「菊川小笠教室」の子ども達と比べて、日本語習得のみならず、学習態度や言葉遣いに明らかに違いがある（習得が遅い）。ここで詳細を述べるには「批判」とのみ捉えられるため割愛するが、日本語を母語としない子ども達の日本語初期指導方法にのみならず、高校進学のための外国人の子ども達への教科指導方法も併せて、子ども達の為にどうすべきか共に議論し、考えていくべき必要性を強く感じる。

” 明けましておめでとうございます I 本年も宜しくお願ひ致します。” 2016. 1. 3(sun)

昨年はたった2日しか書かなかったこのページですが、今年は少しのんびり思索する時間を設け、書き留めていこうと思います。宜しくお付き合い下さい。

仕事では本年は、還暦をステップに飛躍の年にすべく、年末からこの方自宅の事務所に籠りっぱなしで、様々なデータを分析したり、いくつかの計画書を作ったりの毎日です。

田中耕氏から聞いたお話。小嶺・元国見高校サッカー部監督の話に、京都のお寺の住職さん曰く。「50,60はハナタレ小僧。70,80が働き盛り。90になって迎えが来たら、100まで待てと追い返せ。」

うちの統括責任者曰く、マクドナルドも社長が60歳に起こした会社とのこと。

うん、今年もやろう！そう、今年も儲かることをやる！

”心理学研修の仕事として、9月7日午後1時～5時に、カラオケで歌い、踊りまくる”

2015.9.9(wed)

9月7日(月)午後1時、心理学研修第2部、冒頭の私の挨拶です。於：シダックス藤枝店111ルームにて

「今から述べることは、本来、(虹の架け橋教室の)修了式(8月22日)の後の慰労会の二次会、カラオケの席上申し上げるべきことでしたが、叶わず今日になりました。改めて、皆さんの日頃の努力で、子供たちも本当に短い間に、日本語と算数を覚え、先月8月22日に22名の子供たちを公立学校に送ることができました。ありがとうございます。

そして、その皆さんの毎日の、一生懸命な仕事の成果が、一昨日(9月5日)の静岡新聞西部版に記事となったように、まずは菊川小笠教室の継続が大きく一歩進みました。重ねて御礼申し上げます。

更に、(略-志太教室の状況の話) 今少しの私の努力と感じております。本当にありがとうございます。

ここまで来たのも、皆さんの努力、即ち、Oさん、Mさん、Nちゃん、S先生、O先生達が、この5年間、全国に数ある虹の架け橋教室の中で、一番の教室にしようと築き上げてきたこの2教室を、皆さんが更により良い教室にしようと取り組んできた努力の結果だと思えます。只々感謝申し上げます。

そして、この2教室を更により良い教室にしていくには、色々な方々からご紹介、ご推薦頂いた皆様ゆえ、歳の年長、経験の量、立場の上下を超えて、今日の午前中の心理学研修でも言いましたが、「1対1」以上の仕事人関係を築き合いながら、皆様がその考えをお互いに率直にぶっつけ合っていくことが一番大事なことだと、実は先日の8月29日の土曜日、13時間に及ぶ、A副主任とのなが〜い話し合いで感じたところ、翌々日の31日、D統括責任者、M教務主任からの強い提案で、まずは職員同士のアイスブレイクのため、また、子ども目線で子ども達に接すべく、FC(交流分析用語、感性)を上げるため、先ほどのステーキの昼食に続き、これからは「心理学研修」の仕事として、且つ、それ故その研修費は私負担で、約4時間、大いに歌い、踊りましょう!

では、ここは早速私から、すずきまさとの「われもこう」からお願いします。」

大変盛り上がった研修でした。し・か・し、ステーキ昼食半額負担に、カラオケ研修費負担が、私の財布のダイエットに貢献。ま、いいか。男は黙って〇〇〇〇ビールだよ。

(勿論、研修につきアルコールなしだったよ。)

”石上阿希著「日本の春画・艶本研究」完読!” 2015.8.30(sun)

懐かしい教え子の本を読み終わりました。お恥ずかしい話、彼女の著「葛飾北斎 萬福和合神」とこの本で初めて日本における春画の位置づけを知りました。と同時に、還暦にしてあの江戸時代にこんな文化があったとは、日本人として誇らしく感じました。それを教えて下さった阿希ちゃんに感謝です。素晴らしい研究論文ですね。多言は禁物。皆さんも

是非お読み下さい。そして、味わって下さい、日本が誇る春画文化を。平凡社から出てます。